

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	南信濃観光事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	南信濃自治	課等名	南信濃自治振興センター		包含する細々目	1	7	1	4	18	2		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画		条例等					
		事業期間	18	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	南アルプス、伝統文化等、温泉	観光客数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			150000	175000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	観光事業(イベント等)の実施	観光客数	18目標	140000	最終目標	
			18実績		19目標	150000
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	遠山郷には南アルプスの大自然や霜月祭りを始めとする伝統文化等が今日まで息づいており、観光資源が宝庫の地域である。 また、信州の南の玄関口として、浜松市を中心とした東海地域に近く、訪れる客の約7割がこの地域の人々であることから、イベントや情報の発信を通じて誘客の増に繋げていきたい。	18年度の実績 ・霜月祭りツアー ・峠の国盗り綱引き合戦ツアー ・茶摘み体験ツアー ・旧林鉄を歩こうツアー ・道の駅遠山郷イベント ツアー等を企画する中で滞在型を企画する	企画数	8
	19年度計画 ・霜月祭りツアー ・峠の国盗り綱引き合戦ツアー ・茶摘み体験ツアー ・旧林鉄を歩こうツアー ・道の駅遠山郷イベント ・遠山さくらまつり ・霜月祭り公演 ・神様王国ツアー他 ・ホームページでの情報発信 イベント等を企画する中で滞在型の企画	企画数 ホームページアクセス	10 73,500	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	975	1,497
事業費計(A)	975	1,497	
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 500
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	1,788
	トータルコストA+B	2,763	3,285

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	観光事業を通じて交流人口の拡大	観光客数	現状値	140000	19実績	150000
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 地域づくりを進める上で、観光産業への人材を育成し、地域資源を有効に活用して交流人口の拡大を図る。	事業を取り巻く状況の変化 当地域を訪れる観光客の人口が伸び悩んでいる状況で、如何に誘客に繋げていくかが課題である。	事業に対する市民や議会の意見 地域内の各団体等の連携強化を進める。
---	--	--------------------------------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 誘客の拡大に繋げる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 上村と連携をして滞在型の企画を策定し誘客に繋げる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 観光客の消費額の増加に繋げる。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 観光地としての魅力の低下と地域の衰退に繋がる
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 交流人口の増加を図ることにより、消費の増加に繋げる。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合可能 (類似事業名、理由) 民間との連携促進。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 関係団体との連携が必要で市の関与は不可欠		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合可能 (類似事業名、理由) 民間との連携促進。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 担当者1名であり不可能である
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 商店街や旅館業など個々にサービスの提供をおこなっている。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 <input type="text"/>	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 商店街や旅館業との情報交換などをしながら誘客を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法		商店街や旅館業を営む経営者が高齢化してきている。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	